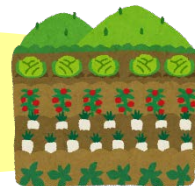


栽培活動 準備中です！



新型コロナウイルス感染症による休校がなかったら、大型連休が終わり、学習活動も本格化しているところですが、残念ながらもうしばらく辛抱願います。学校では、授業が再開した時に児童生徒の皆さんがスムーズに学習活動に参加できるように先生方が準備を進めてくれています。

高等部園芸班の苗の世話や小学部や中学部の畑では農作物が植えられています。本来でしたら、児童生徒の皆さんと一緒に植えるのですが、苗は植える時期がありますので、皆さんの登校を待つことは難しいようです。再開後は、しっかりと栽培に励んでください。



(上) 中学部の畑で先生が畝作りに励んでいます。サツマイモの苗を植えるそうです。

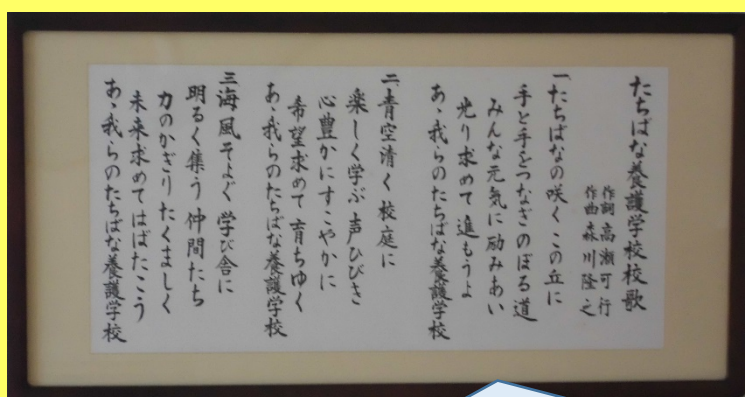
(左) 小学部の畑では、ナスやトマトの苗が育っています。

～創立30周年を迎えて～

たちばな 思い出のアルバム⑤



本校の校歌は、初代校長 高瀬先生が作詞され、森川隆之氏（作成当時は和歌山大学教授）が作曲しました。私が本校に赴任した時はまだ校歌はできていませんでした。職朝の中で、高瀬校長先生が、カセットテープに録音された森川先生自身がピアノ伴奏しながら歌う校歌を紹介されたことが記憶に残っています。



玄関ホールに掲げられている本校の校歌の歌詞額装（タイトル、歌詞は、「養護学校」のままです。）。当時の教員が揮毫しました。額は卒業生から学校への贈り物です。

本校の校歌の歌詞の中に「光求めて」という言葉が出てきます。これは、高瀬校長先生が長年この教育に携わり、教育環境が整っていない時代にたくさんの障害のある子供たちやその保護者に接してきました。そのような時にある一人の絶望している母親に出会い、教育の場を紹介した時、「この子（自分の子供）の将来にひかりが・・・」と大声で泣きながら感謝されたそうです。高瀬校長先生は、すべての子供が元気で楽しく学び、心豊かに育ち、社会参加へと未来へ向かっていかなければならないという思いをこの歌詞に込めたと語っています。1番の歌詞には、「光り」、2番の歌詞には、「希望」、3番の歌詞には、「未来」を求めると書いています。この学校、そして特別支援教育に込める高瀬校長先生の気持ちがよく感じられる歌詞です。その後、平成7年11月1日に行われた開校5周年記念式典・第2部の記念講演は、校歌作曲者の森川隆之氏による「音楽のおはなし」でした。

